

「人」と「人」が交わるフリーマガジン

KRPPRESS 5

2013
vol.130
MAY

特集1: 京都大学デザインスクール

「デザインイノベーション拠点」KRP9号館内に開設!

特集2: KRP(株)の海外連携活動レポート

シリコンバレー・台湾と京都を結ぶネットワーク形成を強化



(左から) 京都大学 榎木 哲夫教授 / 石田 亨教授 / 門内 輝行教授

— 次代を担う人材を育成 デザイン学大学院連携プログラム —

京都大学デザインスクール 「デザインイノベーション拠点」 KRP9号館内に開設

京都大学は2013年4月、5年一貫の博士課程教育リーディングプログラム「デザイン学大学院連携プログラム」を開始しました。複雑で多様な現代社会の諸問題を解決するため、「社会のシステムやアーキテクチャ」をデザインする、俯瞰力と独創力を備えた人材の育成を目指し立ち上げられました。学部間や産学公、国内外の多様な連携によってリーダー養成のための教育・研究活動が展開される、かつてない取り組みです。

同プログラムの始動に伴い、実習・研究のハブとなる「デザインイノベーション拠点」が、KRP9号館に設けられました。大学院生はもとより、産学公の多彩な人材が集い、産学連携・国際連携の場、異領域の専門家が協働して未来を創造する場としてさまざまな活動が予定されています。

今回、プログラムコーディネータの石田教授をはじめ、国際連携とカリキュラム作成を担当された榎木教授、「デザインイノベーション拠点」を設計された門内教授にお話を伺いました。



国内外の産学公の連携により、 諸学の知を融合した「デザイン学」が誕生



(提供: 京都大学デザイン学大学院連携プログラム)



社会の諸問題をデザイン力で解決する 「^{クロス}十字型人材」を育てたい

京都大学 情報学研究科 社会情報学専攻
プログラムコーディネータ 石田 亨教授

京都大学とデザインは結びつきにくいと思われがちですが、ここでの「デザイン」とはファッション・デザインなどの意匠を意味するものではなく、震災復興のランドデザインなど社会の仕組みに関わる広義のデザインです。科学・工学・デザインの循環をつくる新たな学問領域です。多様な要素が複雑

にからみあう社会の諸問題は、単一の専門領域の知識だけで解決することができません。サイバー(情報学)とフィジカル(機械工学、建築学)、さらに経営学・心理学・芸術学など異なった領域の知識や、現場における問題発見・解決能力など、さまざまな知識や能力により構成される「デザイン力」が必要です。このプログラムでは、そうした幅広い知識に基づく



「俯瞰力」と、実践的な実習・研究で培われる「独創力」をそなえた、突出した専門家「^{クロス}十字型人材(+ Shaped People)」の育成を目指します。また、産学連携、国際連携、大学間連携による教育の推進を目的として、デザインイノベーション拠点をKRPに設立しました。さらに、本拠点にオープンイノベーション機能を有するフューチャーセンターを設けることで、社会の期待や実問題と大学の教育研究を接続します。ここから産学官公民や国内外のネットワークが広がり、実社会に役立つ「十字型人材」が輩出していきます。



「実習」と「デザイン共通科目」を 二大特色とする独自のプログラム

京都大学 工学研究科 機械理工学専攻
デザイン学ユニット教育委員長 榎木 哲夫教授

「社会システムやアーキテクチャ」のデザインに責任をもてる博士人材は、産業や行政、海外といった異なる分野や、異なる学問領域を超えて連携できるジェネラリストであるとともに、領域の違いを突き抜けて、問題本質の類似と差異について認識

できる能力が求められます。当プログラムでは、互いの専門性を集めて解決するスキルを養う「問題発見型学習・問題解決型学習」、問題解決のために組成させる異領域の専門家からなるチームをオーガナイズする「オープンイノベーション実習」、産学官プロジェクトに参加し博士研究としてのデザイン学を究める「リーディングプロジェクト」の3つの課程を設けました。「実習」を前面に打ち出し、異領域のデザインについて学ぶ「デザイン共通科目」を設けた独自のプログラムは、海外からも高く評価されています。



「出会い」や「対話」が生まれ イノベーションを創出する空間構成

京都大学 工学研究科 建築学専攻
デザイン学ユニット運営委員長、デザインスクール代表 門内 輝行教授

デザインイノベーション拠点では、「問題発見・問題解決学習」「オープンイノベーション実習」「リーディングプロジェクト」の3つのカリキュラムを行います。相互に刺激しあってプラスの価値を生み出す空間にするため、長い廊下を通り抜けた先に、広い共用スペースを設け、それを囲むように各プロジェクトのブースを配置しました。誰かが何かをしている様子が自然と目に入り、出会いと刺激が生まれる。それぞれのプロジェクトに駆動力を与える空間です。また、KRP9号館5階からは三山の山並みを見晴らせます。遠くを眺めることは思考のスケールにも影響しますし、京都の悠久の歴史が感じられ、過去の世代から現在、未来の世代へと、広い視点で思考できる環境です。



京都大学国際デザインシンポジウム

International Design Symposium in Kyoto (IDS Kyoto 2013) を開催

日時: 2013年3月15日(金)10:00~17:30(交流会18:00~19:30)・16日(土)9:00~12:30
場所: KRP1号館4階サイエンスホール(KRP9号館 京大デザインイノベーション拠点)

京都大学デザインスクールのキックオフイベントとして、世界で立ち上がっている著名なデザインスクールから多彩なスピーカーが招かれ、各大学独自の学際的な教育プログラムや成果事例が紹介された。国際的な人材交流が組み込まれる本プログラムの今後の活動にとって、大きな意味をもつ有意義な機会となった。

スタンフォード大学のd.school、ハーバード大学デザイン大学院をはじめ、アメリカ・ヨーロッパ・アジアの著名なデザインスクールから各担当教授・研究者をスピーカーとして招へいし、企業・行政関係者らに参加を呼びかけて開かれた初めての国際シンポジウム。建築や情報などさまざまなバックグラウンドを持つスピーカーが一堂に会し、真剣な議論を展開し、まさにデザインスクールが目指す異領域連携・国際連携を体現する場となった。

連携プログラムの教育委員長である榎木教授が進行役となり、1日目午前は、京都大学デザインスクールの取り組みについてコーディネータの石田教授をはじめ、国際連携、デザインイノベーション拠点、産学公連携などについて、各

担当教授が発表。午後はフィンランドのアールト大学など、京都大学デザインスクールにとって重要な国際連携先となる海外の各大学のプレゼンテーションが行われた。2日目は、デザインにおける産学連携についてスタンフォード大学 d.schoolにおけるコラボレーション事例の紹介、つづいてイギリスの大学における研究者の人材教育の取り組みの紹介が行われた。またシンポジウムの最後にデザインイノベーション拠点の見学ツアーを実施。石田・榎木・門内各教授がガイド役となって、教育プログラムごとにゾーニングされた空間構成やインフィルを使った開放感のある内部を案内した。各国の参加者は早速テーブルを囲んで、京大デザインスクールの今後に対する期待や意見を語り合った。

京都大学デザインスクール ワークショップシリーズ 「Designful? “サービス”のデザイン性とは」

日時: 2013年3月27日(水)9:30~17:30・28日(木)9:30~17:00
場所: KRP1号館4階サイエンスホール/KRP4号館地下1階バスホール

京都大学デザインスクールのワークショップの一環として「サービスのデザイン性」をテーマにしたワークショップが開催された。本テーマを主題にした講義やパネルディスカッションの後、参加者がチームごとに分かれ課題に取り組んだ。

1日目は造形デザインの集中講義、鮎屋・ゲームデザイナー・結婚式プランナーなどサービスのプロたちによるパネル討論の後、グループを編成して「サービスのデザイン性」について議論、結果を発表。2日目はサービスのデザインについて米国IDEO社アソシエイトパートナーによる講演の後、デザインセッションが行われ、各グループで「デザインスクールの新入生を迎えるサービス」をデザイン。チームごとに寸劇によるプレゼンテーションを行った。2日間という短い日程で、理論から実習・発表まで、スピードやチームワーク・発表能力を求められる課題に、企業関係者ら一般参加者も含む104人が挑戦。課題・問題の解決に取り組むプロセスを体感し、「Designful」とは何かを考える2日間となった。



京都大学デザインスクールをお迎えして

京都リサーチパークは過去数年間、「情報系産業による京都地域活性化研究会」を運営、日本における産学連携のあり方を有識者の方々と議論して参りました。その間、海外の事例や日本の現状をつぶさに伺い、我が国に産学連携をミッションとし、産と学の間位置する中間組織体が必要であるとの結論に達しておりました。このたび、京都大学はデザインイノベーション拠点をKRP地区に開設され、その中で、

京都リサーチパーク(株) 産学公連携部長 木村 千恵子

オープンイノベーション機能を担うフューチャーセンターが動き始めます。この拠点が、産と学を紡ぐ中間組織体へと発展し、グローバルな人材と知財が集まり、京都が世界的なデザイン都市へと飛躍する原動力となることを願って止みません。KRP(株)は、この未来ある拠点の運営に参画し、ここを起点に新たなイノベーションが生まれることを全力でご支援する所存です。

シリコンバレー・台湾と京都を結ぶ ネットワーク形成を強化

海外とのネットワークの強化を目指すKRP(株)の取り組みを紹介。今回は、ベンチャー企業の活動が盛んなシリコンバレーと海外企業誘致や投資に熱心な台湾にて、京都リサーチパーク地区の活動PRをすべく各地のベンチャーキャピタルやリサーチパークを訪問した。



InvestTaiwan Service Centerにて

REPORT 1

京都=シリコンバレー? 京都の魅力と企業をシリコンバレーの起業支援家にPR

去る2月6日、シリコンバレーのインキュベータであるNestGSVにて、「Japanese incubation & Innovation Ecosystem」が開催された。現地にてKRP(株)の活動報告をするとともに、京都のベンチャー企業と、米国シリコンバレーの起業支援家の橋渡しをするため、現地とKRP町家スタジオをテレビ会議でつなぎプレゼンテーションを行った。参加企業は、2012年のテクノロジー&ビジネスプランコンテストの入賞者、グリーンロードモーターズ(株)、design studio "PENCIL"、(株)ミルテルの3社と京都を拠点とするコネクフリー(株)。はじめに、コネクフリー(株)CEOの

クリストファー・テイト氏が「イノベーションのまち〜京都」を紹介した。町家スタジオの佇まいも功を奏し、シリコンバレー側の大きな興味を引いた。シリコンバレーでも起業経験があるテイト氏は「京都は日本のイノベーションの流れを作る場所であり、シリコンバレーを超えうる面白い潜在力があるとアピールしたかった」と、イントロの意図を明かした。パノラマ写真によるコンテンツを提案するdesign studio "PENCIL"の二宮章氏は「テレビ会議という制約もあったが、先方の雰囲気がかめてよかった」と話した。また、JETROの現地駐在員から進出を呼びかけられたことも自社の技術

への自信になったと感想を述べた。

KRP(株)では、今回のように現地で京都の企業を紹介する機会をはじめ、ASPAとの合同マッチングイベントなど、海外進出を考える企業への支援を行う仕組み作りとして今後も海外の起業支援家や公的機関とのネットワークを強化していく予定だ。



KRP町家スタジオにて テイト氏、二宮氏

REPORT 2

アジア進出は台湾から。台湾の最新情報に触れる視察ツアー実施



上: 福竹 康志氏
下: 高雄デジタルコンテンツセンターにて

アジア進出を狙う日本企業において、事業展開の足掛かりとなる国として注目される台湾。その現状を把握すべく、3月17日(日)~21日(木)の日程で台湾視察ツアーを実施した。

KRP地区入居企業であり、2011年に台湾・高雄市に進出を遂げた(有)京都情報化支援事務所を訪問し、取締役所長の福竹康志氏と共に高雄ソフトウェアパーク、高雄市政府、高雄デジタルコンテンツセンターと高雄金属加工研究センター、駁二芸術特区、新竹サイエンスパーク等を視察。施設見学や政府関係者とのミーティングを通して台湾の今を肌で感じとれる、大変有意義なツアーとなった。福竹氏は、「台湾は街の発展も人の動きも、とにかくダイナミック。インフラ整備等が

急速に進む反面、せっかく培った人脈を失うこともあった」と話す。しかし、日本人と非常に近いマインドや技術を持つ人々、低い物価など、進出しやすい要素は間違いなくあると確信する。

「日本人は計画的で緻密。台湾の人たちはオープンマインドで、チャレンジャー。ちょうど裏表の関係なので、うまく補完し合えばパートナーとしては最適」とも。

福竹氏が台湾に進出するきっかけとなったのが、2011年にKRPで開催された「日台ビジネス合同会議in京都」。また、今回のツアーで台湾との関係が更に深まりつつあることもあり、福竹氏は「台湾側からも期待されている。ぜひ次に繋げてほしい」と、今後の企業交流や進出への期待を示した。

KRP デザインフォーラム 「作り手」と「売り手」「買い手」「使い手」それぞれの思いの共有

日時：2013年3月9日(土) 11:00～17:00、10日(日) 10:00～17:00
会場：KRP1号館4階サイエンスホール／KISTIC2階イノベーションルーム
「デザインと製造業との協業のありかた」金谷 勉氏
「固定観念にとらわれないもの作りへの挑戦」高橋 理子氏
「人と人をつなぐ京菓子」太田 達氏
テキスタイル・マルシェ in KRP (KRP アトリウム)

2013年の「KRPデザインフォーラム」は、「作り手」と「売り手」「買い手」「使い手」それぞれの距離を近づけ、思いを共有しようとの考えのもと、もの作りの現場で幅広い知識と経験を持ち、流通から販売までをデザインするイノベーターの講演を2日にわたって開催。アパレル関係者や芸術系大学の学生らを中心に多くの参加者が集まった。

1日目は(有)セメントプロデュースデザイン代表取締役の金谷勉氏が、鋳物メーカーをはじめ、製造業と協業した際の成功例をもとに、「商品を作るにはコト(企画)・モノ(デザイン)・ミチ(販路)が大切」とし、地場産業を成功に導くには「買い手」に応じて販売ルート構築



し、試行錯誤による戦略の修正が重要であると述べた。次に、和紙など様々な産地の職人との作りを行なうプロジェクトや、企業ブランディング、店舗インテリアなど、幅広い活動を展開する(株)ヒロコレッジの高橋理子氏が、自らの活動を「世の中への刺激の投入」と位置づけ、伝統や「らしさ」といった既成概念を超えた表現に挑戦している作品を紹介。より多くの人とつながりながら活動していきたいと、アーティストとして「作り手」の思いを語った。2日目の講演者、有職菓子御調進所「老松」主人の太田達氏は、「色彩で表現する世界唯一の食べ物」として京菓子の特色にふれながら、菓子を含めた日本

の食文化を宗教や祭り、行事、茶道などの関連から幅広く紹介。参加者は豊富な知識をもとに展開される講演に聴き入り、京菓子や日本の食文化の奥深い世界を楽しんだ。



また、併催イベントとして、こだわりの生地メーカーが自社の生地を持ち寄り直接販売する「テキスタイル・マルシェ」が開かれ、「作り手」「売り手」「買い手」「使い手」の全てが会する場となった。

また、併催イベントとして、こだわりの生地メーカーが自社の生地を持ち寄り直接販売する「テキスタイル・マルシェ」が開かれ、「作り手」「売り手」「買い手」「使い手」の全てが会する場となった。

また、併催イベントとして、こだわりの生地メーカーが自社の生地を持ち寄り直接販売する「テキスタイル・マルシェ」が開かれ、「作り手」「売り手」「買い手」「使い手」の全てが会する場となった。



京都上海ビジネス交流サロン グループインタビュー

日時：2013年3月1日(金) 14:00～15:30
場所：ASTEM棟8F イノベーション創出コミュニティ
主催：(公財)京都産業21、(公財)京都高度技術研究所、京都リサーチパーク(株)
協力：京都商工会議、京都府上海ビジネスサポートセンター

中国人消費者とリアルタイムに意見交換

京都の中小企業の中国進出をTV会議で支援する「京都上海ビジネス交流サロン」では、トレンドに敏感な40代の中国人女性4人を迎えて、初の試みとなるグループインタビューを開催。京都からは、きもの伝統技術でLED照明器具を製作する「(有)アイ工房」、京焼・清水焼の製造卸販売の「(株)西川貞三郎商店」、手芸・手編み糸の「ハマナカ(株)」が参加した。TV会議を利用して京都と中国双方に通訳者を設け、3社が30分ずつ商品を紹介、上海側と質疑応答を行う形で進められた。

京都の伝統工芸に関する紹介や中国人の色彩・絵柄の好み、中国市場における贈答の習慣や効果的なPR方法などについて、商品を見ながら具体的なディスカッションが行われた。「リアルタイムに中国人消費者のナマの声を聴くことができた」「価格に対する関心の高さが印象に残った」「今後の中国ビジネスに役立てたい」などの声が聞かれた。

同サロンでは今後も継続してグループインタビューを実施していく予定。



マザーズ上場セミナー開催!

日時：2013年3月21日(木) 14:00～18:30
会場：ASTEM棟8F
主催：(株)東京証券取引所、(公財)京都高度技術研究所、京都リサーチパーク(株)



憧れの上場について学ぶ絶好のチャンス

新産業やベンチャー企業の創出・活性化を目的に、(公財)京都高度技術研究所とKRP(株)が連携して取り組む「イノベーション・ジャングルPJ」活動の一環として、「マザーズ上場セミナー」が開催された。マザーズは規模や業種などによる制限を設けていないため、成長企業向けの比較的上場しやすい市場として知られている。

本セミナーではまず上場企業の体験談として、昨年7月にマザーズ上場で注目を集めた(株)エニグモ代表取締役(CO-CEO)須田将啓氏が講演。上場を果たした日は、人生で最良とも言えるような晴れやかで素晴らしい日だったと振り返った。続いて(株)東京証券取引所の佐々木隆雄氏が、市場の紹介および上場の説明を行った。

その後、須田氏、東証の宇壽山図南氏、KRP(株)成長企業支援部の岡田直樹部長の3者によるトークセッションが行われ、参加者との質疑応答も交えながらさまざまな角度から上場についての意見を述べ合った。

セミナー後の懇親会にも大勢が参加。企業人の憧れである上場についての理解を深める有意義なイベントとなった。



(株)エニグモ 須田 将啓氏

KRPeople

KRPeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります。



株式会社 匠 宇治彩葉 会長 中村 弘一氏 (4号館5F)

京都府出身。菓子メーカー退職後、平成19年宇治橋にて創業。販路を広げ、平成24年に会社設立。全国への営業拠点として平成25年3月にKRP地区に営業所を開設。

“100%ほんまもん”の宇治茶にこだわった 正真正銘の抹茶製品を全国へ。

当社は“ほんまもんの宇治茶を使ったお菓子”をコンセプトに、OEMによる抹茶製品の企画・製造・販売を行っています。宇治抹茶使用を謳っている商品は巷にいろいろありますが、実際は宇治で栽培された宇治茶だけを使っているものは、なかなかないんです。私どもはお茶の品質と産地にとことんこだわり、地元宇治田原町の茶匠・下岡久五郎氏の茶園で採れた正真正銘100%ほんまもんの宇治茶を石臼挽き抹茶にして、ふんだんに使用。和菓子と洋菓子それぞれのよいところを融合させた、京都らしく宇治らしい商品の開発に取り組んでいます。茶園と直接取引することで、コストを抑えて高品質なお茶を使うことが可能になります。通常、この価格帯では使えないであろうお茶を使っていることが自慢ですね。お茶だけでなく、使っている粉や添加

物にもこだわり、材料を選んで作っているため生協などでも販売していただいています。また、パッケージにもこだわり、中身にふさわしい高級感のある箱や、ネーミングなど、代表取締役を務める娘の監修のもと作っています。おかげさまで、取引先が全国に広がってきたため、今年から京都営業所と東京営業所を開設することになりました。

現在はありがたいことに、365日休みなしで、全国を飛び回っています。昔はゴルフをし倒し、お酒も飲み倒し、遊ぶときは徹底的に遊んだものですが、今は仕事が趣味のようなものです。メーカーさんから提案された商品を、どういう工夫をすれば売れるのかを考えて、世に送り出す。アイデアが実際の商品になって出て行くのは、自分の子供を送り出すみたいなので楽しいですね。当たったときはすごく嬉しいし、仕事が本当に楽しい。今後、遊べといわれたら、温泉に行くぐらいでしょうか(笑)。

学校を出てすぐにお菓子屋さんへ丁稚に行き、お菓子一筋にきましたが、仕事だから仕方なく全部食べているだけで、実はお菓子が苦手。でも、お菓子が苦手な人のほうが、味の善し悪しがよくわかると思うんです。私のようにお菓子が苦手でも「これなら食べられる」というものが本当においしいお菓子だと思います。これからも、ほんまもんこだわったお菓子を作り、全国の方に喜んでいただければ嬉しいです。

PickUp!

「茶輪」は、お茶碗のような形のバウムクーヘン。だからパッケージも抹茶茶碗が入っている木箱のようにしようと、趣向を凝らしました。抹茶の輪(バウム=年輪)であることと「茶碗」のシャレから、ネーミングにも遊び心をプラス。税込1,365円。結婚式の引き菓子にも人気です。



Newcomer

新しい入居企業様の紹介

京都・宇治 株式会社 匠 宇治彩葉

KRP4号館5F

宇治田原茶匠「下岡久五郎」茶園産の石臼挽き抹茶を用いた菓子の開発・製造・販売。原材料にこだわった安心・安全で美味しいお菓子の提供を目指しています。

株式会社 匠 宇治彩葉 ●TEL/075-321-8433 ●FAX/075-321-8434
中村 亜寿香 代表取締役 ●MAIL/kyoto-ayana@kcf.biglobe.ne.jp

株式会社 EDUCOM

KRP8号館1F

学校現場を対象に、コンピュータシステムの導入・活用をサポートしている会社です。先生たちの業務をできる限り効率化するお手伝いをするので、「先生本来の仕事」に割く時間を増やしてほしい。その結果、子どもたちにもっと楽しく学べるようになってほしい。教育の質の向上、それが私たちの想いです。

株式会社 EDUCOM ●TEL/075-874-3781 ●FAX/075-874-3782
柳瀬 貴夫 代表取締役CEO ●URL/http://www.educom.co.jp/

2/20 第3回 モバイルコンテンツサミット 2013
KRPやKRP町家スタジオの活動を発表



今年で第3回となる「モバイルコンテンツサミット」が岐阜県大垣市にて開催された。IT×クリエイティブで地域発イノベーションが生まれるかをテーマに、各地域の活動や事例を発表、議論が交わされた。パネルディスカッションではKRP町家スタジオの田中裕也館長から、KRPおよび同スタジオでの活動の発表があった。

3/10 Google Developer Group DevfestW in Kyoto
世界各地で女性中心の開発者イベントが開催!



女性エンジニアを対象とした「Google Developer Group DevfestW」が世界各地で開催され、日本ではGDG京都がKRP町家スタジオにて勉強会を主催し、HTML5やAndroidデザインの発表、ロシアと生中継するなど国を越えた交流があった。

3/1 ~ 3/24 『my home town わたしのマチオモイ帖』
全国各地のクリエイターから町への想い溢れる冊子や映像が町家に集結



3月1日から約3週間、KRP町家スタジオにてマチオモイ帖展が開催された。クリエイターが自分が生まれた町や住む町を冊子や映像にして発信するという企画で、今年是全国13拠点以上で同時に開催された。KRP町家スタジオには約40点もの京都・滋賀のマチオモイ帖が展示され、北海道や九州からも来館者が訪れた。会期中はトークイベントやまち歩き企画もあり、参加者が自分の想いがある町について話す場面も見られ、次回の開催を待ち望む声やクリエイターとして作品を出してみたいという声が聞かれた。



4/9 カンデジセミナー vol.19
「今、Web業界が目目しておくべき大切なこと」
KRP1号館地下1階タトラーでWeb開発者や経営者らが交流



関西デジタルコンテンツ事業共同組合主催のセミナーが交流スペース「タトラー」にて開催された。今回は、(株)イー・エージェンシー代表取締役 甲斐真樹氏により、過去に経験された社運をかけた決断、『Web業界で生き抜くための覚悟の事業再編戦略』について講演が行われた。



詳しい内容はWEBでチェック!



●KRP成長企業支援部 ブログ・・・ <http://www.krp.co.jp/sks/vio/newsblog> ●町家日記・・・ <http://blg.krp-machiya.co.jp>

さらに **社員研修が受講しやすくなりました!**

KRPイノベーションクラブ

5月・6月の開講講座 年間フリーパスのほか、1回だけの申し込みも可能になりました!

5月15日(水)
●話す力～営業プレゼンテーション～ / 5,000円(税別)
●体感型報連相 / 5,000円(税別)

5月22日(水)
●タイムマネジメント / (動画)3,000円(税別)

6月5日(水)
●書く力～お客様向け提案書作成～ / 5,000円(税別)
●仕事の土台 / 5,000円(税別)

6月19日(水)
●管理職のための成果を出す会議のコツ / (動画)3,000円(税別)

申込み・問合せはコチラ
京都リサーチパーク(株) 営業企画室
075-315-8342 / tabaneru@krp.co.jp
<http://www.krp.co.jp/tabaneru/seminar.php>

※「束ねる」サービスはKRP地区入居企業の皆様のためのサービスです。一般企業の方は一度ご相談ください。

KRP賑わい村開村!

5月7日(水)～10月31日(木)

昨年の晩秋に開催した「KRP賑わい村」が、バージョンアップしてKRPに戻ってきます。今回は、KRP東地区(七本松通り東側)にキッチンカーが集まります。夜(ライブ等)の開村も企画。初夏から秋にかけてアウトドアでのランチや夕暮れライブなど、これからの企画にご期待ください。

*開村日やメニューはコチラ!
<http://www.krp.co.jp/nigiwai>

KRP-WEEK 2013

2013 7.29 MON ▶ 8.5 MON (予定)

今年もKRP地区から新たな京都を発信します!

KRP地区入居企業・団体さま主催イベント募集中!
ご相談はコチラ: 075-315-8342 (梅田・新保)

編集後記 今号の特集、京大デザインスクールは、個々の先生方の「つながり」がベースにあり動き出したプログラムとのこと。学部間の連携をはじめ、今まで夢に描いていたものが現実になっていくのだと、先生方は目を輝かせながら熱意のこもったお話をしてくださいました。今後、誰でも参加できるセミナーやワークショップなども実施予定とのこと。一気に葉を茂らせていく5月の新緑のような勢いとエネルギーがKRP地区へ運ばれてきそうです。(ひ)

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上 krppress@krp.co.jpへ

配送 ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止 ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」
変更 ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.